

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年8月4日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから8月4日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 原子力規制委員会の広報日程について御説明いたします。

今日の発表は2件となっております。

まず、1ページ目の一番下、8月22日の(3)の案件です。第22回（技術評価の優先順位）新規制要件に係る事業者意見の聴取に係る会合が開催されます。対応は遠山基盤課長です。

議題は、事業者が技術評価を希望する学協会規格についてとなっております。原子力規制委員会では、審査の効率的な実施のために、許認可の申請図書において引用される日本原子力学会、日本機械学会、日本電気協会などの民間規格について、規制要求に対して容認できる実施方法であるかということをおらかじめ評価しております。評価に当たっては、被規制者から規格の策定や改定の動向とか、規則・解釈を満たす使用規格として、申請において使用が今後見込まれるかどうかといったようなことを聞きまして、優先順位を判断して計画を策定することで、優先度の高いものから技術評価を実施するというを行ってきております。

この会合では、被規制者から技術評価を要望する規格を聴取いたしまして、今後の評価の順番を検討するという位置づけのものでございます。今回は法改正に伴いまして高経年化評価が見直されるという見込みもあることも踏まえて、その関係の規格についても評価の要望があると伺っております。

次の案件が、委員の現地視察に関するものです。

(2)の日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機における東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析に関する現地視察というのが8月25日に予定されております。対応は杉山委員です。

今回は、1F（福島第一原子力発電所）事故の調査・分析に関連いたしまして、敦賀発電所1号機を視察されます。敦賀発電所1号機は、1Fの1号機と同時期同型の炉でございます。健全な状態のプラントを視察いただくことで、今後の調査に生かしていくという目的のためのものとなっております。当日はペDESTAL、非常用復水器、原子炉補機冷却系の配管の状況などの視察が予定されております。

発表は以上でございます。御質問などはございますでしょうか。

<質疑応答>

○司会 それでは、いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—